

鳥羽市議会改革推進特別委員会会議録

令和元年6月26日

○出席委員（13名）

委員長 戸上 健
委員 南川 則之
委員 瀬崎 伸一
委員 奥村 敦
委員 中世古 泉
委員 坂倉 広子
委員 世古 安秀

議長 木下 順一

副委員長 山本 哲也
委員 濱口 正久
委員 片岡 直博
委員 河村 孝
委員 浜口 一利
委員 坂倉 紀男

○欠席委員（なし）

○職務のために出席した事務局職員

事務局長 清水 敏也
書記 中山 真緒

次長兼
議事総務係長 木田 崇

(午前11時46分 開会)

○戸上 健委員長 本会議に引き続きお疲れ様です。

ただいまから議会改革推進特別委員会を開催いたします。

これより議事に入ります。

本日も協議頂く案件は事項書のとおりです。

そこに、正副委員長素案を添付いたしましたのでごらんください。

目指す方向性ですけれども、議会改革度ナンバーワン議会の鳥羽市、それを目指したい。かつては2位でした、視察も殺到して、議会として地域振興にも貢献しました。宿泊規定を設けて、鳥羽市議会の視察の場合、必ず市内に宿泊していただくという規定です。視察議会数は、22年度から29年度、この数値になっております。

ピークの24年度は、76議会中、議会改革テーマの視察が70市議会670人になりました。1年間の視察が70日ですので、この年度は毎日市議会視察があったというふうに言えます。順位の後退に比例して、視察議会数も徐々に減少しています。しかし、全国ランキングというのは、相対的なものであり、ランキング至上主義には走らないようにしたいと。市民にとってのナンバーワン議会こそ肝要ですので、何よりも市民に支持され、信頼される議会になれるよう研鑽し、自己実現を確立したいと考えております。

次に基本姿勢ですが、これは、議長が就任挨拶でなさいました2点、第1に、市民とともに議会改革、第2に、オール鳥羽市議会での力の発揮、ここがキーワードになりますので、我々議会改革推進委員会のコンセプトをこの2つに定めたいと思います。

次に、推進体制ですが、議会改革推進特別委員会、通称改特とっておりますけれども、改特は、議長が指名した13人。全ての事項は改特の合議と合意で決定するとなっておりますけれども、これは採決の場合もございまして、全体として皆さんの議決ということになります。改特は、6月、9月、12月、3月に最低1回開催して、案件によって適宜開いてまいります。全体会議とともに、小回りの利く推進小委員会、これを設けたいと思います。これは、海女条例を我々議会としては政策条例で作成したんですけれども、このときも、全体というよりも小委員会を設けて、ここが推進の起動になりました。この例に倣いたいということです。

小委員会は6人を超えない。小委員会の決定が全体を僭越しないというので、全部で13人ですので6人とどめたいというふうに思います。人選は、全体のバランスをとって、1期、2期、3期以上ということで、それぞれ2人以内。正副委員長を含めますので、2期の場合は、山本哲也副議長が副委員長ですので、もうお一人。3期以上ということになりますと、私が委員長ですので、もうお一人ということになります。議長はオブザーバーで参加していただきます。きょうの改特後、直ちに第1回小委員会を開催しますので、この場で小委員会のメンバーを選出していただきたいと思います。

次に、年間計画と立ち上がりですけれども、これはあくまでも、正副としての予定ですので、皆さんからいろいろ知恵を出していただきたいというふうに思います。2019年度は初年度として、議会改革のそもそも論の学習と意志統一を主眼に置きたいと思います。

前半期7月から9月、もう既に本来であれば4月から入るんですけれども、4、5、6と済んでおりますの

で、7月から9月までの3カ月ということになります。講師を招いての研修会、講師は皆さん方のご希望もありかというふうに思いますけれども、正副の原案としては、高沖さん、これは県議会の事務局長を長い間務められて、今全国自治センターの研究員をなさっております。7月5日の自治センターの主催の研修会でも高沖さんが1日講義をなさいます。鳥羽市議会にも来ていただいた廣瀬克哉先生、それから大森彌先生は、以前に社協でしたか健福でしたかが主催した研修会に鳥羽に来ていただいたことがあります。それから、片山善博さんはまだ来ておりません。こういった方々を招きたいと。それから、後半期10月から3月ですけれども、検討課題の抽出と合意、議論の開始を始めたい。まず、現段階での各地の検討すべきテーマ、これを出し合って、それをもとに、研修会内容を詰めて、研修会後再度テーマを募りたいというふうに思います。現段階での各地の問題意識のテーマ、これは皆さんさまさまおありだというふうに思います。7月1日までに通知をお願いしたいと思います。といいますのも、7月2日に、これまだ小委員会で決まっておりませんもので、現原案、たたき台ですけれども、小委員会を予定しているために、それまでにお願いしたいと思います。

以上が、正副の素案です。まず、目指すべき方向性、これについてご意見はいかがでしょうか。

ご議論ありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 次に、基本姿勢ですけれども、これは議長の就任挨拶、2つのコンセプト、これを基本姿勢にしたいというふうに思いますけれども、これはご意見ないというふうに思うんですけれども、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 次に、推進体制ですけれども、全体の会議は、本会議のさなかにといますか、時間があるときに開きたいというふうに思います。小委員会をつくって、いわば執行体制のようなものなんですけれども、小委員会を別途つくるということについては、ご異論ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○戸上 健委員長 小委員会は6人を超えないという人数については、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○戸上 健委員長 当初、正副の委員長の検討では、名乗りを上げていただいた方なら何人でもいいと。10人でもいいやないかということだったんですけれども、いやいや、そうなると小委員会で決めたことが全体の決定になってしまうと。これはちょっとまずいということになりまして、6人以下ということになりました。

人選は全体のバランスをとって、こういうふうに、1期、2期、3期で、2人ずつというふうにしたいと思うんですけれども、これもご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○濱口正久委員 よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○戸上 健委員長 それで、人選ですけれども、どういう方法ですればいいでしょうか。

浜口委員。

○浜口一利委員 委員長の指名もありだと思うんですけれども、なかなかそれは難しいかもわからんけれども、

それが大事なことかなと思いますけれども。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 まず、積極的に参加の意思がある人をこの場で聞いていただいて、足らなければ正副委員長一任ということでよろしいんじゃないでしょうか。

○戸上 健委員長 それで、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 じゃ、1期目からお二人ですので、1期目3人ですけれども、お二人、我こそはという方は挙手していただければというふうに思います。いかがでしょうか。

わかりました。瀬崎委員と正久委員、それをお願いしたいと思います。

2期目はもうお一人ということですので、河村委員。河村委員は、僕が委員長のとときに、副委員長、委員長指名でしたので、山本委員と2人お願いして、これは会議規則で1人になっておるということで、すみません、ご無礼しましたもので、河村委員。

3期目以上でお一人ですけれども、浜口前議長、よろしくをお願いします。

前議長は、これまで4年間他市の議会視察、ほとんど一応公務がないときは全部対応していただきましたし、全国の議会改革の研修会でも講師を務められておりますし、それからガバナンスでしたか自治日報でしたか、それにも鳥羽市議会の改革の論考を書いてみえますので、この6人をお願いしたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○戸上 健委員長 次に、年間計画と立ち上がりですけれども、先ほど説明させていただいた中身で、ほかにご意見ご要望ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 次の会議で、皆さん方の議論をお願いしたいというふうに思います。

それでは、第1回の議会改革推進特別委員会をこれで終了いたします。

(午前11時56分 散会)

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

令和元年6月26日

議会改革推進特別委員長 戸 上 健